

志遠



「志遠」の由来

第5 第校長植田安昭先生の発議により、平成2 年本校創立25 周年を機に中国・魯の歴史書に記された「身近而志遠」（遠大な志をもって雄飛する）の故事に因んで、校是に選定したものである。

CONTENTS

- | | | | |
|-----|------------------------------------|-----|------------------|
| 2P | 北九州高専の可能性/雄志台 | 20P | 就職体験記 |
| 3P | 学生時代にできること/一陽来復のこれからに向けて
寮務主事所感 | 21P | 進学体験記 |
| 4P | 専攻科の今日この頃/総務主事9年 | 22P | 本科卒業研究・専攻科特別研究一覧 |
| 5P | 新任教員メッセージ | 26P | 令和4年度課外活動指導教員一覧 |
| 7P | 新入生・編入学生メッセージ | 27P | 令和4年度高専体育大会等成績一覧 |
| 9P | 留学生メッセージ | 29P | 学生会メッセージ |
| 10P | 卒業生メッセージ | 30P | 寮長メッセージ |
| 13P | 修了生メッセージ | 31P | 各種トピックス |
| 14P | 就職・進学状況について | 32P | 図書館便り |
| 16P | 令和4年度進路状況一覧 | 34P | (裏表紙) 令和5年度行事日程 |

北九州高専生に期待すること



校長 鶴見 智

昨年の春、満開の桜の下で入学式を挙行し、新入生とともに私の北九州高専での日々がスタートしました。雄志台と呼ばれるキャンパスは正門から背後の山裾まで階段状に広がり自然豊かな環境に目を奪われました。そしてこのような環境で学べる北九州高専生をうらやましく思いました。また、新学期校門前に立ち登校してくる学生一人一人に「おはよう」と声をかけました。皆、元気に「おはようございます」と返事をしてくれました。顔が輝いていました。いつまでもこの入学時の、新学期時の気持ちを忘れないでほしいと願いました。

さて、それから1年間、皆さんを見てきました。私の印象は北九州高専の学生さんは優等生的で少し大人しいかな、というものでした。確かに体育祭での応援合戦、高専祭での体育館の床が抜けるのではと心配されるほどのライブ、すごいエネルギーです。コロナ禍で2年間行事等が制限を受ける中で迎えた3年ぶりの対面開催は盛り上がりませんがありません。しかし、日常に戻った時、授業や試験に真面目に取り組む大人しい顔になっている。コロナ禍で委縮してしまっているのでしょうか。私はそんなことはないと思っています。

ある先生は問題を出すと学生は正解をすぐにききたがるというようなことを言っておられました。解はひとつでその解の出

方を暗記すればテストの点数は取れる、そういう学び方が身につけてしまっているのかもしれませんが。しかし社会に出てみると解のないことだらけです。ネットで調べればすぐにほしい情報を得られる。それがフェイクかどうか疑わず拡散させる。同じ構図です。自分の頭で判断していく、決断していく力が必要です。

そのために皆さんには実体験を重視した試行錯誤をしてほしいと思います。好奇心とチャレンジする気持ちをもってほしいと思います。ネットの世界から抜け出して、例えば各種コンテストに参加する、あるいは留学を考える、地域ボランティア、起業にトライするなど、人との関わりを持ち学校の中にいるだけでは味わえない実体験をしてほしいのです。こうした実体験を通して身につけたコミュニケーション力や課題解決力が社会に出たときに皆さんの強みになります。

最後に、保護者の皆様、地域の皆様へのお願いです。私は、学校は学生が安心して学べる環境を整え自分のやりたいことをみつけ能力を伸ばしていくことを手伝う場であると考えています。いうまでもなく学生一人一人の成長を促すには保護者の皆様や地域の皆様の協力が必要です。学校の取組みをオープンにし、こまめに情報提供していきますので、よろしくお願いたします。

雄志台 考える持久力

機械創造システムコース

島本 憲夫

最近の人工知能AIの応用は多岐にわたり、様々な分野でAIという言葉が使われるようになった。30年ほど前、私が通信事業会社の研究所に就職した頃も人工知能の基本モデルであるニューラルネットワークが大ブームだった。そのため最初に取り組んだ仕事は、ニューラルネットワークを使って、通信網の利用状況を学習し最適な通信経路を割り出して通信網全体をリアルタイムに制御する、という研究だった。ニューラルネットワークでは、ニューロン数を増やし多層構造にすれば学習能力が向上することは、当時から言われていたことだが、計算機パワーがネックとなり、三層（入力層、中間層、出力層）構造のモデルが精一杯であった。限られた計算リソースの中で、どうすれば効率よく計算ができ、学習の精度があがるのか、多くの研究者が考え創意工夫した時代だったと思う。今のディープラーニングの技術もその当時のアイデアがベースになっているとこだ。

「課題解決型の人材」というのが最近の流行りである。「自分で課題を発見し解決する人材、自分で考えて行動できる人材」とのことだが、昔から日本の技術者は皆そ

の様な人材だったはずである。コンピュータが発達していない時代、手計算での解析しか行えないような環境の中にあっても、日本の技術者たちは知恵を出して直面した課題を解決し結果を残してきた。では、なぜ今このようなことを言わなければならないのか。本誌第74号に投稿した「考える手間」の中でも書いたことだが、今は「知りたいことの答え」をネットから簡単に得ることが出来てしまう。「ネット検索で見つからない」分らないこと」であり、答えが見つからないことをじっと考える時間は無駄であり、さっさと諦めてしまう。こういうスタンスでは解決すべき課題の本質も見えてこないのだろう。課題解決型の人材を求める声は、私たちが考へる行為をサボることに慣れてしまった結果、根気強く考え続ける持久力が衰えてしまったことの一つの現れではないのだろうか。

今、AI技術は豊富な計算リソースを潤沢に使って、とりあえず今できそうなことは殆ど実現できている状況だと思いが、この先、更に高度な「考える機械」を実現していくためには、また30年前のように人間が創意工夫しないといけない時がやって来るのだと思う。人間の取柄は「考えること」である。いずれAIに追いつかれる時がやってくるかもしれないが、それまでは、考える持久力を鍛え続けていくことが必要だと思っている。

学生時代にできること

教務主事
安信 強



新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、私達の日常生活に多大な影響を与え、まだ収束を見通せない状況です。しかし、感染防止や脱コロナ、アフターコロナに向けての取り組みも確実に進められており、グリーン・トランスフォーメーション(GX)やデジタル・トランスフォーメーション(DX)、SDGs等の対応、

推進がさらに求められるとの予測もあります。インターネットの普及が私達の生活に大きな影響を及ぼしたように、脱コロナ、アフターコロナに向けての取り組みが私達の生活を大きく変革させる可能性があります。科学や工学、技術に携わる高専だからこそ貢献できることも多いと思いますが、そのためには卒業後を見据えて考え、さらに学校での学習に意識的に取り組むことが重要です。卒業後を見据えて“自分が取り組むこと”を改めて考えては如何でしょうか。

一陽来復のこれからに向けて

学生主事
安部 力



この原稿が皆さんの手元に届く頃には、新型コロナ感染症対策が緩和されている頃でしょうか。2020年2月から影響が拡大した新型コロナ感染症ですが、この5月の体育祭前には「5類」相当に分類変更され、季節性インフルエンザ同様の扱いになっていると思います。この3年間、様々な情報に振り回され制約を受け、心身

ともに暗い日々だったと思います。しかし、いよいよ「有り難い日常」が戻ってきます。

これまでの鬱屈した日々を振り払って、明るい方へ確実に一步を踏み出してもらいたと思います。「一陽来復」は「春の到来を告げる言葉(『易経』)」です。「叢雲の後ろには太陽が照り輝く(新渡戸稲造)」とも言います。

これまでの辛抱は「大きく羽ばたくためのエネルギーを貯めていた期間」と考え、これからは思う存分、自分の可能性にトライしてください。

皆さんの元気が学校を、社会を明るくすると信じています。

寮務主事所感

寮務主事
井上 祐一



令和4年度より学生寮を担当しております、寮務主事の井上祐一(物質化学コース)と申します。近年の受験者数の減少に伴い、最近では北九州市近郊だけでなく、遠方まで学校説明会を実施するようになってきました。そのため、学校説明会での学生寮に関する質問が増えているように感じます。しかしながら現在、寮の定員

充足率は高く、特に男子は1年時に入寮できなければほぼ入寮できない状況となっております。一方、運良く入寮できたとしても、光熱費の高騰やエアコン・無線LANの新規リースによる寮管理費の値上げ等もあり、諸手を挙げて喜べる状況でもありません。今後は新型コロナ感染の行動規制緩和もあり、より一層寮運営の舵取りが難しくなってきますが、引き続きご理解とご協力をいただくと幸いです。



専攻科の今日この頃

専攻科主事
井上 昌信



昨年度の本広報誌では、専攻科カリキュラムの変更や、九州大学工学部融合基礎工学科との連携教育プログラムの設置などの検討を行っておりますと書きましたが、ようやく両者ともこの4月より始動します。

前者は、これまでの融合複合教育を念頭に置いた1専攻という枠組みは変わりませんが、「A：環境材料領域」「B：AI・IoT領域」「C：ロボティクス領域」と重点領域の名称変更を行い、同時に本科時の出身コース別に受講

する(少人数制の)科目を設置することで、専門性も深掘り出来るようになりました。

一方、九州大学との連携教育プログラムは、1年次は本校で他の専攻科生とほぼ同じ講義を受講し、2年次からは九州大学筑紫キャンパスをメインに講義や研究をすすめるものです。これにより所定の単位を修得すれば、本校専攻科の修了証書と九州大学からは「学位」を同時に授与されます。なお、本プログラムに進むには、本科4年次の夏に実施される九州大学のインターンシップに参加し、かつ本校専攻科の推薦選抜試験に合格することが条件となっておりますので、新4年生で興味がある学生は早めに担任の先生に相談してみてください。

総務主事9年

総務主事
浜松 弘



平成26年4月に、総務主事を拝命しました。3つの目標をたてました。

- (1) 技術振興会を設立する。
- (2) 教職員駐車場を整備し、ロータリを来客用にする。
- (3) プールを壊し、有効利用する。

技術振興会は、「地域の企業と連携を図り、学校の研究力・技術力を高め、学生を地域振興の担い手として輩出す

る。」というねらいをもっています。50年間、北九州高専になかったものです。市・商工会議所・FAISとの繋がりをもつようにして、企業経営者と意見交換をさせてもらい、平成30年7月5日に設立しました。5年間運営しています。(2)については、来客の方から「高専はいつも来客が多いですね」「いや、教職員の車です(苦笑)」との会話です。コロナ対策で交付金が圧迫され、場所は確保しましたが、舗装整備まで至っておりません。(3)も同様です。目標達成率50%で、今後に託します。



新任教員メッセージ

母校で教鞭を執る

電気電子コース
小畑 大地



今年度から本校に赴任してまいりました、小畑と申します。私は本校の卒業生でもありますので、その立場から高専教育への思いと抱負を述べさせていただきます。

私が高専の教育システムの中で最も優れていると考えている部分は、学生の自主性を尊重する校風です。

自由な中で自ら考えて学ぶことで、詰め込み教育とは一線を画する教育効果が得られていると感じます。これは教育内容に限った話ではなく、日常生活や学校行事など、学生生活全般に自由で闊達な雰囲気醸成することが肝要です。SNS等の発達もあり堅苦しくなる教育現場において、如何に学生の立場と自由を守っていくかが、我々教員に課された重要な役割であると自負しています。

学生の皆さん、課された義務さえこなしていれば、あとは法とモラルの範囲内で好きにやりなさい。共に自由な学生生活を謳歌しましょう！

辞書使っていますか

一般科目 (英語)
原田 洋海



今年度より英語担当で着任しました原田洋海です。専門は20世紀イギリス小説で、特に世紀転換期から戦間期の、ヴィクトリア朝から大きく時代が変わった頃の作品に興味があります。

英語で文学作品を読む際、特に精読をする際には辞書が手放せません。英語教員だから辞書なしでも読めるだ

ろうと思うかもしれませんが、そんなことはありません。まだまだ知らない英単語はごまんとありますし、一見平易な単語でも辞書を引いて初めて知る用法がよくあります。

辞書には言葉の知識が詰まっています。辞書を引くたびに新たな発見があります。紙の辞書、電子辞書、オンライン辞書、それぞれに良さ悪しがあるのでどれでも構いません(私は辞書アプリをたくさんスマートフォンに入れて使用しています)。英語を勉強する際には手元に一冊(一台)置いておきましょう。

自己紹介

一般科目 (数学)
三浦 高広



初めまして。10月に着任しました三浦です。大分県出身です。地元の高校を卒業後、佐賀大学、神戸大学大学院で数学(専門はトポロジー)を専攻し、学位取得後は神戸大学で研究員をしながら関西の高専、大学等で数学を教えてきました。そんな中、この度ご縁があり北九州高専の教員となりました。どうぞよろしく

お願いします。

私は高専出身ではありませんが、高専には馴染みがあり、高専生は優秀だという(勝手な?)イメージもっています。というのも、幼少期、たまたま大分高専の近所に住んでおり、小学生の頃は毎年の高専祭が楽しみでよく遊びに行っていました。ロボット等の展示物について説明してもらったり、初めて触れるパソコンの操作方法を教えてもらったり、専門知識をもつ高専生がとてまかこよく見えたことを今でもよく覚えています。そんな高専生と共に過ごす毎日が、これからとても楽しみです。



新任教員メッセージ

人を頼る力も大事

知能ロボットシステムコース
久野 翔太郎



皆さん、はじめまして。11月より着任しました、久野と申します。もう10年も前になりますが、私は本校を卒業しています。この度、違う立場で母校に帰ってくるようになりましたが、学生時代の後悔の1つを話したいと思います。

私の後悔は、先生方に自分からあまり質問や相談を

しなかったことです。先生方は常に忙しそうに見え、小さな疑問などで時間を取ってもらうのは失礼と思い遠慮をしていました。しかし、教員の立場になった今思うのは、学生からの質問や相談は非常に嬉しいということです。業務で忙しいのは確かに事実ではありますが、それ以上に皆さんがやる気を持って物事に取り組んでくれることは嬉しいことです。

余計な遠慮をして自分一人で抱え込まず、疑問があればぜひ教員に相談し、我々を踏み台にして社会に飛び出してほしいと思います。これからどうぞよろしくお願いいたします。

好きなことで、生きていく

情報システムコース
吉元 裕真



初めまして、10月より着任した吉元です。舞鶴高専で学び、九州工業大学を経て今に至ります。どうぞよろしくお願いいたします。

私はロボットの研究開発が大好きです。賢いアルゴリズムをソフトウェアで組み込むと、ロボットというハードが動く一連の流れが非常に魅力です。小学生で初めて

触れて以来、高専時代はロボコンに全力を注ぎ、大学院ではロボカップやロボット用AIの実現に邁進しました。仕事でも好きなことを続けたくて、研究のできる本学へ参りました。今は研究室の学生メンバーと新しくロボットを作り始めたところです。

みなさんは何故“あえて”高専を選びましたか？色々な理由があるでしょうが、どうか「好きなことをやる」を徹底してください。我々はみなさんを全力でサポートします。一度きりの人生、是非「好きなことで、生きていく」勇気を！



新入生・編入学生メッセージ

初めての高専大会

1年1組
西牟田 暖大



高専に入学してバスケットボール部に入部し、高専大会に出場しました。

高専大会は私が高専に入学しようと中学3年生の時に決めたきっかけの1つでもあったことなのでとてもわくわくした気持ちでした。

普段見ることの無い相手と先輩たちのレベルの高い

試合を見ることが出来たし、自分も少しだけ出場することが出来るとても緊張はしましたが良い勉強になりました。そして、普段一緒にバスケットをしている同級生と夜にみんなで集まって遊んだり、普段バスケットをする時以外でなかなか関わることが出来ない先輩と話す機会が出来たりと、チームメイトの色々な所を知ることが出来るとても楽しい3日間になりました。次の高専大会に向けて練習を頑張っていこうと思います。

学生会活動で

1年2組
小野 彩花



私は入学してすぐに学生会に興味があったので学生会に入りました。

学生会では、体育祭や高専祭の準備をしました。

最初は大変そうとか難しそうという印象がありましたが入ってみると仕事は楽しかったです。

高専祭では自分たちでかいたパネルがステージで

使われるなど頑張ったことが目に見えてわかるのでとてもやりがいを感じました。

また、先輩たちはとても面白く、優しく仕事を教えてくれたので楽しく仕事をすることができました。

学生会を通じて同級生と仲良くなることができ友達と一緒に活動することができました。

同じクラスの子だけでなく他クラスの友達もできるので学校生活がもっと楽しくなりました。

2年生でも楽しく学生会で活動をしたいと思います。

クラスマッチ

1年3組
久藤唯花・廣津奈々羽



高専でのクラスマッチは、私たちにとってかけがえのない思い出となった。出会って間もないクラスメイトと一緒にバレーボールをする中で、私たちには強い絆が生まれた。

6月のクラスマッチでは、他学年とも試合を行うことに驚いた。勝てるかどうか不安だったけれど、

上級生のチームに勝てたときは、嬉しい気持ちになった。私たちのクラスは勝ち進んでいったが準決勝で負けてしまい、結果は3位に終わった。

12月のクラスマッチは、前回よりも上位に行くことを目標に、みんなで練習に取り組んだ。その甲斐あってか、前回準決勝で負けてしまったチームに勝つことができ、2位になることができた。

高専でのクラスマッチは、他学年との交流の場でもあり、クラスメイトとの仲を深められた場でもあった。また高専生活を楽しめる場にもなった。



新入生・編入学生メッセージ

文化祭

1年4組
山根 理紀太



私の一年間の高専生活で最も印象に残ったのは文化祭です。

私のクラスでは謎解きゲームを行いました。前日準備では、まだ問題用紙の調整と印刷が済んでいなかったり、解答用紙ができていないことに最終下校時間直前に気付いたりと散々でしたが、その非日常感

が面白かったです。

もし準備が不足していたら、と不安に駆られながら迎えた本番では、大きなトラブルもなく2日間通して運営し続けられたことが何より嬉しく、またいらっしまった方々との会話はぎこちなくもいい思い出になりました。また暫くして、想像していたよりもかなり多い人数が来場していたと分かり、大きな自信になりました。

準備段階では不安ばかりでしたが、最後には満足 of いく文化祭にすることができました。令和5年度の文化祭も楽しんで取り組めると良いなと思います。

一年経って

1年5組
山口 心暖



高専に入学してから一年間様々な面で充実した生活を送る事が出来ています。

入学して間もない頃は仲のいい人ができるか、勉強はついていけるか、など心配な点が沢山ありました。ですが、その心配をする必要が無かったと感じるくらいすぐにクラスの皆と打ち解けられました。

また勉強面では先生方が楽しく、わかりやすく授業をしてくれたり放課後に質問をしに行った時は快く迎え入れ、詳しく教えてくれたりしました。このおかげで私は、勉強において困ることなく一年間過ごす事が出来ました。

部活動では、他学年の知り合いができたり、先輩方から各コースについて話を聞けたりと学ぶ事が多くありました。

寮生活では大変な事が多い反面、楽しい事も沢山ありました。寮独自のイベントが豊富で、その中で先輩との関わりがもてました。

最後に、これからの高専生活も沢山楽しんで充実させていきたいと思います。

高専に入って思ったこと

電気電子コース4年
谷石 大輔



まず、高専に入る前の高専のイメージを書きます。YouTuberのかっつーの影響もあり、勉強しかやることのない学校、きつそうというネガティブなイメージでした。ではなぜ高専に入ったかというと2年後にまた、就職か、進学か選べるからです。人生の大半を費やす仕事を決めるタイミングがたくさんあるの

が高専編入の良いところだと考えます。

では高専に入ってから思ったことです。結論からいうと楽しいです。いいところです。その理由としては、クラスがあるからです。クラスがあると、順位があり友達と切磋琢磨できるし、クラスマッチや修学旅行など学校行事も豊富です。大学に進学していたら高校卒業してから味わえなかったであろうことがまだ楽しめる環境は非常にありがたいと実感しています。もちろん勉強面は難しいですが、クラスの仲間のおかげで非常に向上できていると実感しています。



留学生メッセージ

小さい夢は大きくなる

知能ロボットシステムコース3年
フバ



私はフバともうします、チュニジア出身です。空手が大好きです。よろしくお願ひいたします。小さい頃、世界中を旅することを夢見ていました。私の夢は、あらゆる文化音楽を聴いて、さまざまな文化の知恵を知ることです。

私が日本を選んだのは、機械と流体の専門分野に興味があり、日本は技術と産業において革新的な国だ

からです。私はまた、日本の礼儀と人々の間の相互尊重を賞賛し、それが社会を統合するのに役立っていると思っています。日本とアフリカとの関係を強化し、産業界のイノベーションに少しでも変化をもたらしたいと願っています。

日本での留学は楽しい機会でした。もちろん、生き方や考え方の違いなど、大変なこともたくさんあります。それでも、すべての違いを無視して、類似点に焦点を当てることができます。その上、高専のスタッフはとても親切で、いつでも助けてもらいます。

また、北九州高専には多くの留学生がいるので、この素晴らしい文化の混合を知ってうれしいです。

留学生の寮生活

情報システムコース3年
サムエル



私はインドネシア出身の留学生です。北九州高等専門学校に入学する前に1年間東京で日本語学校に通ってました。その時留学生寮に住んでいましたので、寮生活に日本人に交流する機会ほとんどありませんでした。なので、北九州高専の寮生活はとても楽しみでした。

でも、引っ越すときは緊張しました。友達できるのかとか、1年間日本語学校に通ったのに、日本語で会話する自信がないとか色々心配しましたが、今振り返ってみるとそれは心配することではありません。寮生活は楽しいと思います。一番の理由は毎日他の寮生と交流することができるからです。寮生のクラスメートの友達ことができました。毎日友達と一緒にクラスへ行ったり、一緒に寮に帰ったり、食堂と一緒に食事をします。時々友達の部屋に勉強をしたり、ゲームをしたりします。いつも日本語で話す機会があって、シンプルな会話でもよく話せたらすごく達成感を感じます。だから、今でも寮に住んで楽しいし、日本に留学してよかったと思います。

自分の体験

物質化学コース3年
アリヤー



初めまして、私はアリヤーです。マレーシア出身です。もうすぐ21歳になります。クラスは3年生の物質化学コースです。日本へ来る前にマレーシアで日本語を勉強しました。しかし、マレーシアで書き言葉の日本語しか勉強してなかったから、初めて日本に来て、日常会話が全然分かりませんでした。先生

と日本の友達のおかげで、日本語の会話ができるようになりました。今も勉強が難しいですが、もっと頑張りたいです。

勉強以外には、日本へ来てから今まで行ったことがない所に友達と一緒に遊びに行きました。一番記憶に残っている思い出は山形でスキーとスノーボードをやったことでした。楽しんだのですが、本当に疲れて写真をあまり取れませんでした。スキー場に行った後に一番いい雪景色の銀山温泉も遊びに行きました。マレーシアは季節が二つしかないのに雪国に行くのは面白いと思います。ぜひ来てください。



卒業生メッセージ

後悔のない高専生活を

機械創造システムコース5年
藤嶋 亜衣



北九州高専を選んで良かった。そう思える5年間でした。

長いと思っていた高専生活もあっという間に過ぎて、気づけばもう卒業です。正直、卒業するという実感はあまり湧いてないけれど、最後の授業、最後の昼休みと最後の〇〇がやってくる度、あー終わるん

だなあと少し寂しくなります。

振り返ってみると、部活、応援団、高専祭でのステージ企画とたくさんの思い出に囲まれた5年間でした。新型コロナウイルスの影響で、中止になった3年次の体育祭、4年次の長期工場見学。それでも、息が出来なくなるくらい笑った昼休み、頭を抱えながら夜遅くまで友達と一緒に頑張ったテスト期間、どれもかけがえのない思い出で、何よりも大切な時間でした。クラスのみんな、先輩、後輩、先生方、本当にありがとうございました！

最後に一言！1度きりの高専生活、後悔のないように思いっきり楽しんでください！

高専生活を振り返って

知能ロボットシステムコース5年
小森 涼平



高専生活を振り返って、自分は「高専に入学してよかった」と自信を持って言えます。そう言える一番の理由は、学校行事に積極的に参加し、仲間達とたくさんの思い出を作れたからです。しかし、ただ普通に参加するのではなく、いろいろなことに挑戦したことが自信を持って言える要因だと思います。

自分は、体育祭ではコース代表、高専祭ではバンドに

挑戦しました。どちらの挑戦も大変でしたが、仲間と助け合いながら自分を大きく成長させることができ、一生忘れられない思い出になりました。

何かに挑戦するには、大きな一歩を踏み出す勇気が必要ですが、代わりにたくさんのものを得られることをこの5年間で知ることができました。学生の皆さんもあっという間に終わる高専生活、後悔の無いように全力で楽しみながらいろいろなことに挑戦してみてください！

最後に、自分の高専生活は最高でした。同級生の皆、お世話になった先生方、本当にありがとうございました！

高専生活を振り返って

電気電子コース5年
三島 滉太



3年生に上がるタイミングでコロナウイルスが流行し、電気電子コースになって初めての授業は遠隔でした。振り返ってみると、今まででは考えられないような学生生活を送ることになりましたが、それでも良い思い出はたくさんできました。

なかでも、自分がして良かったことは、2年生のと

きから応援団を続けたことと、バンドを組んだことです。練習の期間はそれなりの苦勞をしましたが、それを上回る楽しさと達成感がありました。こういった経験は社会人になるとできないようなことばかりだと思います。

なので、学生のうちに新しいことにどんどん挑戦して欲しいです。結果がどうであれ、挑戦することに意味があります。数々のイベントがコロナによって規制されてきましたが、少しずつ元の生活に戻っているのは確かです。悔いが残らないように学生生活を過ごして下さい。



卒業生メッセージ

「らしさ」と「っぼさ」

情報システムコース5年
岩元 悠真



5年間の高専生活が終えようとしています。高専生活を通して多くのことに挑戦する中で楽しいことも辛いことも多くありましたが、どれも自分「らしさ」を形作る欠片となっているように思います。

北九州高専へ進学後、勉強以外ではゲームと部活動に熱心だったように思います。そんな生活も1年半が

過ぎ、高専生「っぼく」になってきた頃、せっかく高専に來たのだから色々なことに挑戦したいと考え、部活動とゲームをやめて学業に熱を入れ直すと共に、様々な活動に取り組んでいきました。

理工系学生科学技術論文コンクールへの論文応募もその中の一つです。ここでは高専生「っぼい」視点から提言を行った論文を執筆し、結果的には入賞することができました。

自分の感じる「っぼさ」は他人から見ればあなた「らしさ」かもしれません。北九州高専で過ごす日々の中であなたの「らしさ」を見つけてみてください。

結果オーライコース選択

物質化学コース5年
溝尻 翔平



高専2年の3月、コース選択で第4希望の苦手だった化学コースへの配属となりました。ある大好きな工業分野の道に進むため知能か機械に行きたかった私は、頭が真っ白になりました。不安を抱えたまま世間はコロナ禍に突入。私と同じ境遇(第4希望配属)の友達と遠隔で励まし合って気持ちを切り替え、勉強に取

り組む姿勢を改めました。その結果、成績はかなり向上しました。また、落ち着いているクラスの居心地がよいことや、話しやすい先生が多いこと、応援団の列長などのリーダー経験ができたことなど化学でよかったと感じました。就活では、OB・OGセミナーに積極的に参加しました。コースの先生方の就活への手厚いサポートのおかげで、コース選択で諦めかけた夢(自動車業界への就職)を叶えることができました。

失敗してもその後思い切って行動すれば結果オーライと言える日が来るということを学んだ貴重な学生時代でした。



卒業生メッセージ

高専の思い出

知能ロボットシステムコース5年
ラジン



マレーシア出身のラジンと言います。2020年の4月に高専に入学したのですが、新型コロナウイルスのため、12月に来日しました。正直にいうと留学するなんて思いませんでした。自分の能力に自信を持っていなかったからです。しかし、失敗してもやってみさ

えすれば大丈夫であることに気づいてきました。高専に来たばかりのとき、毎回日本人と日本語で話すと緊張して、言葉が出てきませんでした。しかし、友達、先生、寮のスタッフのみなさんは優しく、私が言いたいことを最後まで言わせてくれて、説明のときも、ちゃんと分かるようにゆっくり説明してくれました。高専でいろいろなことを体験しました。体育祭で相撲をすること、応援団に参加すること、高専祭や日本文化体験などはすごく楽しかったです。友達と遊んだり、出かけたりすることもいい思い出になりました。

一期一会

物質化学コース5年
ユ・フィ



コロナ禍のため、2020年4月に来日するはずの私はマレーシアで半年くらい遠隔授業を受けていました。その後、ようやく2020年11月に北九州高専での学生生活が始まりました。

最初の頃、この規則すくめの学校や寮の生活をくよ

くよと悩んで、新しい環境になじんでいくのに結構な時間がかかると思われました。幸いなことに、この2年間というものは、熱心な皆さんのおかげで、自分がやりたいことをしっかり見極めました。寮生の皆さんも、いつも元気な声で挨拶してくれて、皆に元気を与えてくれていましたね。すべてが北九州高専での貴重な思い出になりました。これからも、それぞれ場所は違っても、各自のペースで自分なりに楽しみながら学校生活を過ごしていきましょう。



修了生メッセージ

選択肢の一つ

生産デザイン工学専攻2年
中村 美月



こんにちは。専攻科二年の中村です。機械創造システムコースを卒業し、専攻科では材料力学分野の研究を行いました。私は本科五年生のときにコロナウイルスの流行を経験し、専攻科への進学を決めました。

感染が広まる中での進路選択は不安でした。気持ちを整理して、就職に備えるために専攻科を選びました。

結果として、対面授業を受けながら長期インターンシップも体験できたので、充実した二年間だったと思います。本科で行った研究を続けたい方や、就職・進学の幅を広げるために他コースの勉強をしたい方には、専攻科は向いていると感じました。

普通の生活が戻りつつある最近でも、我慢することは多いと思います。不安や焦りを感じますが、先生方や同級生に相談しながら、少し力を抜いて頑張っていきたいと思います。読んでいただきありがとうございます。

高専生活のすゝめ

生産デザイン工学専攻2年
玉城 翔吾



専攻科一年の春、私は指導教員のすすめで全国ディープラーニングコンテストに参加しました。卒業研究では機械学習を扱うテーマを選択していましたが、プログラミング言語やアルゴリズムの知識はたかだか一年間学習した程度のもので、ビジネスに関しては皆無でした。はじめは腕試しをするくらいの

気持ちでスタートしましたが、ビジネスとAI技術の結びつきを学び、メンバーと試行錯誤しながら製品とビジネスモデルを練り上げた結果、3位に入賞することができました。この話で伝えたいことは、やってみれば何かしらに繋がるということです。私の場合、DCONでの経験は就活における話のネタとなりとても有利に働きました。長い高専生活ですから、全く知らない分野にでも足を突っ込んでみると、興味のある分野や将来の目標に繋がるかもしれないよという余計なお世話でした。

自ら行動しチャレンジする “真の”課題解決

生産デザイン工学専攻2年
林田 龍也



私の本科5年間は、ごく普通の生活で、このまま勉強だけで学生生活を終わらせて良いのかと感じ、専攻科では何かしらのチャレンジをしようと決意しました！

実際に自ら行動したことは、高専インターカレッジや全国アントレプレナーシップ育成事業等で“起業”に向けての知識やマインドセットを人脈形成と共に習得しました。特に日本貿易振興機構JETROのスタートアップ人材育成事業に採択され、国内・国外派遣で全国

のスタートアップ人材と関わることができたことは私の中で大きな刺激となりました。

また私は、地方創生・地域交流にも重きを置き、先日行われた北九州市長選に向けて若者団体に立候補予定者公開討論会を若者対象に企画・運営し開催しました。

在校生の皆さんに私から言えることは、“与えられたことをこなす”というのは真の課題解決ではないということです。何もないと自分自身で必要な人材を集め、真因課題に対してアプローチしていくのが社会に出たときの課題解決だと思います。これで得られる達成感は学校で与えられたプログラムをこなすということとは、まったく異なります。この達成感を味わえるように頑張ってください！



令和4年度就職・進学状況

Mコース学生の就職・進学状況

機械創造システムコース長
山本 洋司



2月16日現在、Mコースの進路状況、就職37人、進学8人、未定3人となっている。就職に関しては概ね順調であったが、企業研究が不足している、会社に入って何がしたいか、どう活躍できるかが明確でない等、就職に対する意識が低い学生は苦戦した。進学に関しては苦戦した学生が多かった。学力不足

もあるが、大学に進学することの意味がよくわかっていない学生が多いように思う。なんとなく進学したい、学歴が欲しい等と考えている学生は大学も必要がない、ここ最近のMコース学生の就職・進学活動を見ていると、何人かが集まって、資料を見ながらワイワイガヤガヤ相談しあっている。就職・進学は自分の将来の方向性を決める第一歩である。もっと真剣に取り組んではどうかと思う。

自分を信じて

知能ロボットシステムコース長
日高 康展



知能ロボットシステムコースでは卒業予定学生45名のうち、就職が19名、進学が26名となりました。専攻科修了予定学生13名については就職が9名、進学が4名です。就職については、ロボット、家電、自動車、ITなどの他、農機具、出版など多様な業種の企業から内定をいただきました。進学先は本校専攻

科をはじめ、九州工業大、九州大、熊本大など九州圏内の大学にとどまらず、東北大、東京工業大、名古屋大など全国の国立大学となっています。この度卒業・修了される皆さんは、この先周りの「凄い人」に負い目を感じて自信を無くすことがあるかもしれません。ただし、自分達も認められてそこにいるわけで、その時負けたと感じたとしても、「そのうち追い抜いてやる」、あるいは「この分野では負けない」という気概をもって臨めばいずれ実力も備わり自信もついてくると思います。自分を信じて頑張ってください。

令和4年度の進路の報告(電気電子コース)

電気電子コース長
松本 圭司



電気電子コース5年生39名(女子9名)中、就職23名(女子9名)、進学16名(女子0名)で、専攻科生は就職8名であった。進学先は、名古屋大1名、九州大3名、熊本大5名、豊橋技科大2名、広島大1名、三重大1名、九工大1名、専攻科2名であった。就職では自動車1名、重工業5名、電力2名、工場内設備

1名、弱電4名、情報通信2名、その他8名であり、採用職種は研究開発、設計、生産技術、保守保全などであった。幸いなことに、電気電子を専門的に学んだ学生は多くの優良企業から求められており、学生は企業の事をよく考えなくても就職することができる。しかし企業選びはもっとよくその内容を知る必要がある。ネームバリューや福利厚生だけではなく、自分の価値観と照らし合わせてよく考えて欲しい。これは就職したあとに早期退職するミスマッチを防ぐことにもつながる。



令和4年度就職・進学状況

情報システムコースの 令和4年度就職進学活動

情報システムコース長
白濱 成希



令和4年度の情報システムコースは39名の卒業予定者の内、就職が25名、進学が13名である。就職先業種はICT関連が多く、ネットワーク、セキュリティ、Web、アプリや情報通信システムの企画、設計、開発、運用、保守など多岐にわたる。今年度は広告、印刷、地図関連の企業への就職もあり、今後の動向に注目し

たい。自動車、建設、プラントなどの製造業への就職もあり、情報システムコースのニーズを改めて実感させられた。なお、地元就職は北九州市5名、福岡市5名であった。進学希望者は推薦の活用や、複数校受験など、それぞれ計画を立てて取り組んでいた。

多くの採用担当者が「コミュニケーション」が重要であると指摘している。学生生活において様々な活動に取り組み、相手の意見を理解し、自分の意見を伝えることができる能力を育成することが重要である。

どのように社会貢献しますか？

物質化学コース長
前田 良輔



令和4年度の物質化学コースの就職・進学状況について、本科生は希望含め就職20名・進学12名(うち専攻科へ5名)であり、本校初となる九大連携プログラムによる専攻科進学予定者も2名誕生した。専攻科生は就職6名・進学2名であった。本コースに直接いただいた求人数は、例年と変わらず堅調であり、

就職活動は3月下旬から夏場まで続き、本コースでの就職先の業界は、化学・素材82%、自動車・機械9%、医薬品9%であった。本科の進学先は、大学編入50%、専攻科42%、その他8%であった。今年度の就職先については、例年通り化学・素材系が多く、また自動車メーカーであってもR&Dで素材に関わっており、多くの学生が学んだことを活かして社会貢献したいと思っているようだ。進学先の決定については、専攻科の定員減により計画的に情報収集しながら早めの決断と行動が必要であった。



令和4年度 進路状況 令和5年3月13日現在

本科5年生

()は、女子学生で内数

コース	卒業者数	就職希望者数(B)	求人社数(A)	就職者数	求人倍率(A)÷(B)	進学希望者数	進学者数(※1)	公務員(※2)	専門学校(※3)	就職未決定者	進学未決定者	その他	備考
機械創造システム	47 (12)	37 (12)	974	37 (12)	26.3	9 (0)	9 (0)	1				1	
知能ロボットシステム	45 (8)	19 (4)	974	18 (4)	51.3	26 (4)	26 (4)			1			
電気電子	39 (9)	23 (8)	1,006	23 (8)	43.7	16 (1)	16 (1)						
情報システム	39 (8)	26 (7)	898	26 (7)	34.5	13 (1)	13 (1)	1 (1)					
物質化学	32 (16)	20 (11)	677	18 (11)	33.9	12 (5)	11 (5)		1 (1)	2	1		
計	202 (53)	125 (42)	4,529	122 (42)	36.2	76 (11)	75 (11)	2 (1)	1 (1)	3	1	1	

専攻科2年生

()は、女子学生で内数

専攻名	修了者数	就職希望者数(B)	求人社数(A)	就職者数	求人倍率(A)÷(B)	進学希望者数	進学者数(※1)	公務員(※2)	専門学校(※3)	就職未決定者	進学未決定者	その他	備考
生産デザイン工学専攻	37 (3)	28 (3)	884	27 (3)	31.6	9	9			1			
計	37 (3)	28 (3)	884	27 (3)	31.6	9	9			1			

※1 進学未決定者は含まない ※2 就職者数の内数 ※3 進学者の内数

本科生就職先一覧 (地区別) 令和5年3月13日現在

()は、女子学生で内数

企業名	就職先所在地	機械創造	知能ロボット	電気電子	情報システム	物質化学	計
【関東地区】							
旭化成(株)	東京都					2 (1)	2 (1)
NOK(株)	東京都	1					1
(株)NTTデータ	東京都		1				1
(株)NTTフィールドテクノ	東京都			1 (1)			1 (1)
キャノン(株)	東京都		1	1			2
キャノンシステムアンドサポート(株)	東京都			1			1
KDDIエンジニアリング(株)	東京都				1		1
(独)国立印刷局	東京都	1					1
コニカミノルタジャパン(株)	東京都	1 (1)					1 (1)
CTCシステムマネジメント(株)	東京都				2		2
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)	東京都			1 (1)			1 (1)
デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム(株)	東京都				1		1
東芝エレベータ(株)	東京都			1			1
凸版印刷(株)	東京都				1		1
成田空港給油設備(株)	東京都			1			1
日鉄テックスエンジニアリング(株)	東京都				1		1
パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション(株)	東京都	1 (1)					1 (1)
パナソニック コネクト(株)	東京都	1 (1)					1 (1)
(株)日立ビルシステム	東京都	1 (1)					1 (1)
(株)平山	東京都				1 (1)		1 (1)
(株)FIXER	東京都				1		1
富士通(株)	東京都		1				1
富士電機(株)	東京都			1 (1)			1 (1)
古河電池(株)	東京都			1			1
本田技研工業(株)	東京都	1					1
三井不動産(株)	東京都			1			1
三菱ガス化学(株)	東京都	1		1			2
三菱電機エンジニアリング(株)	東京都		1				1
三菱電機ビルソリューションズ(株)	東京都		1				1
矢崎総業(株)	東京都					1 (1)	1 (1)
(株)ラック	東京都				1		1
(株)リバスタ	東京都				1		1
東芝プラントシステム(株)	神奈川県	1					1
(株)日産オートモーティブテクノロジー	神奈川県		1				1
日産自動車(株)	神奈川県			1		1	2
日本ゼオン(株)	神奈川県					1 (1)	1 (1)
パーソナルR&D(株)	神奈川県				1		1
丸善石油化学(株)	神奈川県					1	1
(株)三井化学分析センター	千葉県					1 (1)	1 (1)
関東化学(株)	埼玉県					1	1
キャノンメディカルシステムズ(株)	栃木県	1 (1)		1 (1)			2 (2)
計		10 (5)	6	12 (4)	11 (1)	8 (4)	47 (14)

企業名	就職先所在地	機械創造	知能ロボット	電気電子	情報システム	物質化学	計
【東海地区】							
中部電力(株)	愛知県			1			1
DMG森精機(株)	愛知県	1					1
東海旅客鉄道(株)	愛知県	1					1
トーテックアメニティ(株)	愛知県		2		3(2)		5(2)
日東電工(株)	愛知県					1	1
三菱重工業(株)	愛知県		1				1
浜松ホトニクス(株)	静岡県			1			1
計		2	3	2	3(2)	1	11(2)
【甲信越・上信越地区】							
ファナック(株)	山梨県	1					1
計		1					1
【近畿地区】							
大阪シーリング印刷(株)	大阪府	1		1(1)		1(1)	3(2)
関西電力(株)	大阪府			1			1
シャープ(株)	大阪府	1(1)		1			2(1)
ダイキン工業(株)	大阪府		1				1
太陽ファルマテック(株)	大阪府	1(1)					1(1)
東レ(株)	大阪府					1	1
(株)ロココ	大阪府				1		1
アークレイ(株)	京都府	2(1)					2(1)
(株)京都製作所	京都府	1					1
(株)堀場製作所	京都府			1(1)			1(1)
ローム(株)	京都府	1					1
(株)カネカ	兵庫県					1(1)	1(1)
コベルコソフトサービス(株)	兵庫県				1		1
(株)神鋼環境ソリューション	兵庫県	1					1
パナソニック(株)くらしアプライアンス社	滋賀県		2(1)				2(1)
ピー・アンド・ジー(株)	滋賀県					1(1)	1(1)
計		8(3)	3(1)	4(2)	2	4(3)	21(9)
【中国地区】							
小川香料(株)	岡山県					1(1)	1(1)
JFEプラントエンジニア(株)	岡山県			1			1
UBE(株)	山口県			1		1	2
(株)シマノ	山口県	2					2
彦島製錬(株)	山口県					1(1)	1(1)
計		2		2		3(2)	7(2)
【四国地区】							
(株)タダノ	香川県	1(1)					1(1)
計		1(1)					1(1)
【福岡県(北九州地区)】							
(株)Mモード	北九州市				1(1)		1(1)
北九州市	北九州市	1					1
山九(株)	北九州市	1					1
(株)ゼンリンマップテック	北九州市				1		1
(株)ソルネット	北九州市		1				1
(株)高田工業所	北九州市				1(1)		1(1)
トヨタ自動車九州(株)	北九州市		1				1
(株)トリムデザイン ウェストジャパン	北九州市				2		2
(株)西日本シティ銀行	北九州市		1				1
日鉄エンジニアリング(株)	北九州市	1		1(1)			2(1)
日鉄ケミカル&マテリアル(株)	北九州市	1					1
濱田重工(株)	北九州市	1					1
(株)三井ハイテック	北九州市	1					1
(株)安川電機	北九州市		2(1)				2(2)
(株)YE DIGITAL	北九州市	1(1)	1(1)				2(2)
計		7(1)	6(3)	1(1)	5(2)		19(7)
【福岡県(北九州市を除く地区)】							
(株)オートメイション・テクノロジー	福岡市				1(1)		1(1)
カラビナテクノロジー(株)	福岡市				1		1
九州NSソリューションズ(株)	福岡市				1		1
東京ドロウイング(株)	福岡市			1(1)			1(1)
(株)資生堂 福岡久留米工場	久留米市	1(1)					1(1)
I-PEX(株)	小都市	1					1
アドバンテック(株)	直方市	1					1
(株)岡部マイカ工業所	中間市					1(1)	1(1)
西部電機(株)	古賀市			1			1
日産自動車九州(株)	京都郡				1		1
計		3(1)		2(1)	4(1)	1(1)	10(4)

企業名	就職先所在地	機械創造	知能ロボット	電気電子	情報システム	物質化学	計
【九州地区(福岡県を除く)】							
小糸九州(株)	佐賀県	1					1
KMバイオロジクス(株)	熊本県	1 (1)				1 (1)	2 (2)
(株)京製メック	大分県	1					1
中津市	大分県				1 (1)		1 (1)
計		3 (1)			1 (1)	1 (1)	5 (3)
就職決定者計		37 (12)	18 (4)	23 (8)	26 (7)	18 (11)	122 (42)
その他(未決定者)		1	1			2	4
合計		38 (12)	19 (4)	23 (8)	26 (7)	20 (11)	126 (42)

専攻科生就職先一覧 (地区別) 令和5年3月13日現在

()は、女子学生で内数

企業名	就職先所在地	生産デザイン工学専攻
【関東地区】		
旭化成エンジニアリング(株)	神奈川県	1
凸版印刷(株)	東京都	1
(株)三井化学分析センター	千葉県	1
計		3
【東海地区】		
ムラテックCCS(株)	愛知県	1
ヤマザキマザック(株)	愛知県	1
計		2
【甲信越・上信越地区】		
(株)TAYASU	福井県	1
計		1
【近畿地区】		
エスケー化研(株)	大阪府	1
日東電工(株)	大阪府	2
村田機械(株)	京都府	1
住友精化(株)	兵庫県	1 (1)
パナソニック(株)くらしアプライアンス社	滋賀県	1
計		6 (1)
【中国地区】		
(株)デイスコ	広島県	1
計		1
【福岡県(北九州市)】		
TOTO(株)	北九州市	1 (1)
(株)安川電機	北九州市	1
(株)YE DIGITAL	北九州市	1
計		3 (1)
【福岡県(北九州市を除く地区)】		
(株)九州テン	福岡市	1
(株)トヨタプロダクションエンジニアリング	宗像市	2
I-PEX(株)	小郡市	1 (1)
日産自動車九州(株)	京都郡	2
上野精機(株)	遠賀郡	2
(株)オーレック	八女郡	1
計		9 (1)
【九州地区(福岡県を除く)】		
KMバイオロジクス(株)	熊本県	1
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)	熊本県	1
計		2
就職決定者合計		27 (3)
その他(未決定者)		1
合計		28 (3)

※企業によっては実際の配属所在地が異なる場合があります

本科生進学先一覧 令和5年3月13日現在

()は、女子学生で内数

大学等名	コース					計
	機械創造	知能ロボット	電気電子	情報システム	物質化学	
筑波大学		1				1
東京工業大学		1				1
群馬大学				1		1
長岡技術科学大学		1				1
豊橋技術科学大学	1	3	2		1(1)	7
名古屋大学		1	1			2
三重大学			1			1
福井大学	1					1
京都工芸繊維大学					1(1)	1
大阪大学	1					1
岡山大学		1				1
広島大学		2	1		1	4
山口大学		2				2
九州大学	2	2	3	1		8
九州工業大学	1	1	1	3		6
佐賀大学	1			1	1	3
熊本大学	1	2	5		1	9
宮崎大学		3		1		4
豊田工業大学				1		1
北九州工業高等専門学校 専攻科	1	6 (4)	2 (1)	5 (1)	5 (2)	19 (8)
福岡医療専門学校					1 (1)	1 (1)
進学決定者計	9	26 (4)	16 (1)	13 (1)	11 (5)	75 (9)
進学希望					1	1
合計	9	26 (4)	16 (1)	13 (1)	12 (5)	76 (9)

専攻科進学先一覧 令和5年3月13日現在

()は、女子学生で内数

大学等名	所在地	生産デザイン工学専攻
筑波大学大学院 システム情報工学研究群	茨城県	1
豊橋技術科学大学大学院	愛知県	1
九州大学大学院 総合理工学府	福岡県春日市	2
九州工業大学大学院 生命体工学研究科	福岡県北九州市	4
早稲田大学大学院	福岡県北九州市	1
合計		9

就職体験記

私の就職活動

機械創造システムコース5年
世永 誠将



私が就職活動を開始したのは、4年生の夏からです。夏季休暇中の短期インターンシップ先を探していました。志望する業界は自動車関連と決めていたため、この分野の企業を重点的に調べ、特に興味を持った企業にインターンシップを申請しました。結局インターンシップは新型コロナウイルス感染防止のため中止になってし

まりました。しかし、12月末に応募企業が会社見学を実施し、3時間ほど工場の設備見学や、社員、高専卒の社員との会話の機会を頂きました。その際、私はその会社に良い印象やしたい仕事を持ち、入社したいと考えました。結果的に志望企業から内定をいただきました。インターンシップは見学をするだけでなく、志望企業に自分の存在を知ってもらう大きな機会であるため、早めの企業研究で志望分野や企業を絞り込んでおきましょう。

「ま」

知能ロボットシステムコース5年
大宮 茜



私は高専入学前から、この学校の就職率が高いことを理由に志望したほど、卒業後は就職しようと思っていました。それからの4年間はあっという間で、4年生の終わりにはエントリーシートを書いていました。しかし、自分がどんな仕事に就きたいのか明確な考えは全く持っていませんでした。その中で、私の希望とし

ては「地元で就職したい」という気持ちが一番にありました。そこで先生から地元の企業の早期募集があると耳にしました。そこで縁を感じ、志望することを決めました。もちろん、自分のやりたい職務の熱意も大事であってエントリーシートや面接時には絶対に問われます。しかし、社会に出て働く上で環境も同じくらい大事であるとは私は思っています。後輩の皆さんが就職活動をする際には、自分が何を重視したいのか考えて、先生に相談してみてください。私の経験談が少しでも皆さんの参考になればと思っています。頑張ってください。

就職体験記

生産デザイン工学専攻2年
古園 愛美



私が就職活動をするにあたって意識したことは、「企業研究をよく行うこと」と「相手に誠意をみせること」です。企業研究を行うといっても、企業の理念や業務内容を調べるだけではありません。企業が掲げる目標や業務内容が、「自分のしたいこと」や「自分の目指す将来像」と

いった自分の価値観と合うかどうかよく見極めました。入社する前に企業と自分のもつ価値観をよく擦り合わせることで入社後に感じるギャップを低減し、未永く企業に勤めることができると考えます。また私は、相手に誠意をみせることに努めました。相手との信頼関係を築くためには、誠意を見せることが重要だと考えたからです。

大変だった就職活動を終え、4月からは新社会人として働き始めます。いつまでも学び続ける気持ちを忘れず、7年間の高専生活で学んだことを胸に大きく羽ばたいていきたいと思っています。



進学体験記

進学体験談

電気電子コース5年
谷崎 恭祐



私は高専に入学した当初はなんとなく大学編入をしようと考えていました。しかし学年を経るにつれさらに学問を極めたいと考え、進学を決心しました。ただ、私は部活動推薦で入ったため、部活動も四年生の終わりまで必死で活動しました。そこからは一気に勉強に切り替えました。四年生の終わりからなので遅いと思い

ますが、普段の勉強をおろそかにしなかったことや一緒に勉強した仲間たちや沢山の先輩から情報収集したおかげでなんとか頑張れました。しかし私は第一志望校には落ちて第二志望校に進学が決定しました。私は落ちたときとても悔しかったですが本気で勉強してぶつかれたことはいい経験になったと思っています。努力が必ず報われるとは言えませんが、やってきた勉強が無駄になることは絶対にありません。不安になる時もあると思いますが、自分の力を信じて精一杯頑張ってください！

進学体験記

情報システムコース5年
森山 鈴太郎



私は、3年生の頃、卒業後の進路を考え、とても悩みましたが、このまま就職しても今の實力では、社会で活躍できない、さらに何か身に着けることが必要と思い、進学を決意しました。

高専最初の英語のテストを最下位でスタートし、2年生まで下から数えた方がはやく私ですが、先生

の部屋に積極的に聞きに行き、少しずつ成績が良くなりました。そして、希望の大学に合格することができました。

進学にせよ就職にせよ、準備の時間が長くても短くてもその期間につらい思いをして頑張ったという経験が、自分たちの視野を広くし強くしてくれると思います。

受験に失敗し、就職に変更した友人も何人かいましたが、多分僕よりも将来成功するような気もします。「とにかく経験しなさい。」と言って下さった木本先生の言葉を少しだけ実感できた気がしました。

受験期前からの準備の重要さ

生産デザイン工学専攻2年
安野 裕貴



私が進学することを決めたのは専攻科2年次の春のことでした。専攻科入学時からぼんやりと進学の方で考えていましたが改めて今後のことを考えた時に現在の研究テーマは興味深く更に深く掘り下げていきたいと考え大学院に進学することを決めました。私の研究テーマは同じような研究をしているところが少なく

進学先の研究室の絞り込みはすぐにできました。しかし進学先を絞ったのが2年春と遅かったため、その後の研究室をよく知るための調査や受験勉強などはかなり切羽詰った状態になりました。そのため今後進学を考えている方は早めに準備を始めることを強く勧めます。また、高専からの大学進学、特に大学院入試では自分の研究についての発表があります。そのため自分のテーマについてそれが社会のためにどう使えるのか、進学後の研究で発展が見込めるのかななどをよく考えたうえでテーマ決め及び日々の研究を行ってほしいと思います。



本科卒業研究・専攻科特別研究一覧

卒業研究一覧（機械創造システムコース）

学籍番号	氏名	テーマ名	指導教員
5101	秋本 大智	振動工学に関する演示模型の製作	井上
5102	荒木 麗	PLA板材の引張強度に及ぼす機械加工有無の影響	内田
5103	有吉 響	ループ型熱音響デバイスにおける熱交換器の伝熱特性	小清水
5104	生駒 凱意	ジェル状推進薬を用いた固体推進機の燃焼制御	山本
5106	伊原 駿介	振動工学に関する演示模型の製作	井上
5108	上野 和	シンプルプーリー型SMAエンジンの出力特性に及ぼす部品および組立寸法の影響	種
5109	大江 翔	高精度血圧計測システム開発に向けた上腕式血圧計メカニズムの解明	山本
5111	大山 陽史	5軸MCを用いた切削点送り速度一定化制御法に関する研究	鈴木
5112	奥村 諒介	SolidWorksシミュレーション機能を用いた翼型周りの流体解析	島本
5113	小倉 雄輝	学習予測を用いた性能予測法	島本
5114	折井 隆心	PLA樹脂の射出成形に関する研究	浅尾
5115	川端 悠聖	PLCを用いた直交3軸ロボットの研究開発	鈴木
5116	河村 一寿	SolidWorksのシミュレーション機能を用いた楕円球の流体解析	島本
5117	久保田香穂	3次元CAD/CAMを用いた射出成型型の作成	浅尾
5118	古場 愛梨	遊星歯車に関する演示模型の製作	井上
5119	近藤 和奏	SMAエンジン実装機器の設計・製作(SMAエンジンシップについて)	種
5120	坂口 誠治	PLCを用いた直交3軸ロボットの研究開発	鈴木
5121	杉原 康仁	蒸気駆動型熱音響デバイスにおけるスタック内の可視化	小清水
5122	曾根 詢也	紙管の溝加工に関する研究	浅尾
5123	田岡 昂太	"低濃度バイオエタノールエンジンの性能測定 DMEにより改質した低濃度バイオエタノールのエンジンへの適応"	山本
5124	竹内 暢駿	SolidWorksシミュレーション機能を用いた翼型周りの流体解析	島本
5125	千葉 愛子	PLA板材の引張強度に及ぼす機械加工有無の影響	内田
5126	辻 大輝	振動鋳型を用いたAl-2%Cu合金500gの結晶粒測定	吉武
5127	鶴島 武	遊星歯車に関する演示模型の製作	井上
5128	鶴田 智也	新たな振動鋳型装置の設計	吉武
5129	寺川 迪里	PVC平滑材の片持ち回転曲げ疲労過程での温度変化	内田
5130	友杉 優作	学習予測を用いた性能予測法	島本
5131	中尾 健司	ウォータージェット加工機による雄志台賞の盾作成	浅尾
5132	成重 歩武	PLA樹脂の射出成形に関する研究	浅尾
5133	橋住 祐資	振動鋳型を用いた水モデルの結晶測定方法の検討	吉武
5134	平塚 雅尚	紙管の溝加工に関する研究	浅尾
5135	藤嶋 亜衣	4次元CAD/CAMを用いた射出成型型の作成	浅尾
5136	藤野 凜子	蒸気駆動型熱音響デバイスにおけるスタック内の可視化	小清水
5137	堀 恭香	ウォータージェット加工機による雄志台賞の盾作成	浅尾
5138	増田 百花	基礎製図教育におけるBYODの活用について～Fusion 360の利用方法を探る～	井上
5139	松木 達哉	PVC切欠き材の三点曲げ破壊挙動に関する研究	内田
5140	松田 翔一	液面・錆壁間境界量を増加させた鋳型の振動による塩化アンモニウム水溶液の結晶生成への影響	吉武
5141	松本 健	CFDによるプロペラント予熱機構の最適化	山本
5142	松本 太陽	歯車列に関する演示模型の製作	井上
5143	三田市桃佳	蒸気駆動型熱音響デバイスの開発	小清水
5144	水本 開斗	シンプルプーリー型SMAエンジンの出力特性に及ぼす部品および組立寸法の影響	種
5145	山口 知祐	SMAエンジン実装機器の設計・製作(SMAエンジンシップについて)	種
5146	山本 英嗣	振動鋳型を用いたAl-2%Cu合金500gの結晶粒測定	吉武
5147	山本 康太	SolidWorksのシミュレーション機能を用いた楕円球の流体解析	島本
5148	吉留 康平	5軸MCを用いた切削点送り速度一定化制御法に関する研究	鈴木
5149	世永 誠将	"低濃度バイオエタノールエンジンの性能測定 DMEにより改質した低濃度バイオエタノールのエンジンへの適応"	山本

卒業研究一覧（知能ロボットシステムコース）

学籍番号	氏名	テーマ名	指導教員
5201	池内 貴俊	可変偏心車輪を用いた移動ロボットの開発	古野
5202	池上 佳佑	羽ばたき型UAVの開発	日高
5203	井手尾壮介	管内を伝播する圧力波に生じる非線形効果と減衰	安信・蔭
5204	植木 健真	疲労試験のデータに基づいた接着材料の疲労寿命予測	谷口
5205	井上 梨奈	二次元熱流体並列計算コードの開発とその評価	谷口
5206	梅田 大輝	ゴミの再利用化促進に向けた教師データ作成支援ツールの開発	富永
5207	江副 裕真	固定翼型小型UAVの開発	日高
5208	大畑 誠彦	トマト収穫ロボットの収穫ハンドの開発	松尾
5209	大宮 茜	タグチメソッドを用いた最適パラメータの設計	浜松
5210	奥野 楓花	Juliaを用いた流体計算コードの高速化に関する研究	谷口
5211	小野 伊織	カーナビゲーションシステムにおける多目的最適化ルーティングアルゴリズムの改良	安信・蔭

学籍番号	氏名	テーマ名	指導教員
5222	佐藤 桂輔	モノレール軌道検査ロボットの開発	日高
5223	篠原 颯友	超音波センサとLiDARを用いたメカナムホイールロボットのナビゲーション実験	浜松
5224	下條 俊哉	モノレール軌道検査ロボットの開発	日高
5225	杉本 晃輝	電解液流動槽内の流れの解析	安信・蔭
5226	曾宮 一晟	IMUからの地形情報に基づいて未知環境を踏破する移動ロボットの開発	古野
5227	玉水 孝	画像処理技術を用いた傷判別システムの研究開発	久池井
5228	地曳 結衣	拡張された熱力学に基づく多原子分子気体中の爆発問題の解析	谷口
5229	辻井 聖大	固定翼型小型UAVの開発	日高
5230	中川 華凜	熱音響デバイスのスタック位置と内部圧力の変化に対する発振の影響	古野
5231	仲村 拓朗	アグリロボットの防水・防塵機構の開発	松尾
5232	花田 俊介	スマート農場の実現を目指したコンテナ運搬ロボットの開発	松尾
5233	濱村里梨香	超音波センサとLiDARを用いたメカナムホイールロボットのナビゲーション実験	浜松
5234	平倉里李香	口腔洗浄器用のファイバブル発生装置の性能向上に関する研究	安信・蔭
5235	深瀬 麻友	機械学習を用いたトマト収穫のための画像処理	浜松
5236	松本 拓真	スマート農場の実現を目指したコンテナ運搬ロボットの開発	松尾
5237	宮崎 魁斗	ベンチュリ管内の気液二層流の特性に関する研究	安信・蔭
5238	宮本 知弥	機械学習を用いたトマト収穫のための画像処理	浜松
5239	宮本 琉星	収集効率の高いゴミ箱の開発における駆動部分の設計	久池井
5240	村上 大知	FPGAベースのRISC型CPUの開発	安信・蔭
5241	森吉 綜麻	羽ばたき型UAVの開発	日高
5242	山本 忠成	接着材料の実験補助器具の改良による実験効率化に関する研究	谷口
5243	横溝 和也	廃棄物識別機能を実装したゴミ箱の開発	久池井
5244	ラ ジ ン	IMUからの地形情報に基づいて未知環境を踏破する移動ロボットの開発	古野
5245	李 基好	移動補助ロボットのZED2カメラを用いた足検出機能の改善に関する研究	久池井

卒業研究一覧（電気電子コース）

学籍番号	氏名	テーマ名	指導教員
5301	秋山 佳範	鉄基酸強磁性酸化物薄膜における磁界による誘電率変化	加島
5302	浅野 菜摘	アルミ溶射廃棄物とコーティングアルミ廃棄物からの水素発生の検討	前川
5303	池上琳太郎	快適な睡眠環境を提供するSWSの開発	松本
5304	石田 葉大	鉄基酸強磁性酸化物薄膜における磁界による誘電率変化	加島
5305	井上 智博	心拍変動を利用したSwinging Chairの快適性に関する評価	松本
5306	入江 悠太	鉄基酸強磁性酸化物薄膜における磁界による誘電率変化	加島
5307	植木 海翔	携帯型大気圧プラズマジェット照射装置の開発および大気中プロセスでのDLC表面改質	小路
5308	上田 朱夏	携帯型大気圧プラズマジェット照射装置の開発および大気中プロセスでのDLC表面改質	小路
5309	小住 諒	鉄基酸強磁性酸化物薄膜における磁界による誘電率変化	加島
5310	小田 翔太	大気圧プラズマバレットの速度計測	福澤
5311	加来 雅也	大気圧プラズマバレットの速度計測	福澤
5312	岸川 英憲	AIカメラと機械学習を活用した移動ロボットの作製	桐本
5313	木村 良	大気圧プラズマバレットの速度計測	福澤
5314	桑名 俊平	揺らぎを伴う室内光の快適性に関する評価	松本
5315	小林 琢馬	AIカメラと機械学習を活用した移動ロボットの作製	桐本
5316	近藤 翔太	加速度センサを用いた位置システムの検討	武市
5317	酒井 友愛	活性化処理した切削アルミ廃棄物からの水素発生評価	前川
5318	佐々木隆成	大気圧プラズマバレットの速度計測	福澤
5319	末永恋太郎	室内光で機能する酸化チタン光触媒の作成	本郷
5320	高嶋 邑恭	大気圧プラズマバレットの速度計測	福澤
5321	谷崎 恭祐	室内光で機能する酸化チタン光触媒の作成	本郷
5322	筒井 楓	雨雲レーダー画像による降水量の推定	桐本
5323	堤 大悟	室内光で機能する酸化チタン光触媒の作成	本郷
5324	鶴 千裕	雨雲レーダー画像による降水量の推定	桐本
5325	徳山 諒	室内光で機能する酸化チタン光触媒の作成	本郷
5326	中村 優里	アルミ溶射廃棄物とコーティングアルミ廃棄物からの水素発生の検討	前川
5327	永田 晴香	アルミ溶射廃棄物とコーティングアルミ廃棄物からの水素発生の検討	前川
5328	榊原 ゆい	建設工程における壁面平滑作業の自動化の検討	小路
5329	西野 和瑳	室内光で機能する酸化チタン光触媒の作成	浅尾
5330	林口 沙織	活性化処理した切削アルミ廃棄物からの水素発生評価	前川
5331	原 琢真	手軽で安価な陸上用計測機器の構築	武市
5332	樋熊こはる	心拍変動を利用したSwinging Chairの快適性に関する評価	松本
5333	藤岡 匠真	雨雲レーダー画像による降水量の推定	桐本
5334	三島 滉太	建設工程における壁面平滑作業の自動化の検討	小路
5335	三谷尚太郎	リザーバコンピューティングを利用した快適な空間の演出	松本
5336	宮村 敬弥	手軽で安価な陸上用計測機器の構築	武市
5337	村上 敬信	加速度センサを用いた位置システムの検討	武市
5338	村田 壮大	加速度センサを用いた位置システムの検討	武市
5339	渡辺 一希	鉄基酸強磁性酸化物薄膜における磁界による誘電率変化	加島

卒業研究一覧 (情報システムコース)

学籍番号	氏名	テーマ名	指導教員
5401	秋山 稜真	センサと機械学習を用いた物体や空間の認識	秋本
5402	伊熊 礼貴	災害で失う命を減らすためのシステムの構築	松久保
5403	市田 萌衣	BGMの種類が暗記作業に及ぼす影響と脳血流との関係	白濱
5404	出光 隼	ネットワーク上の別のコンピュータからのEmotet感染検知	福田
5405	岩元 悠真	簡易脳血流量測定装置におけるモーションアーチファクトの推定	白濱
5406	上田 大樹	プロセスの親子関係を考慮したマルウェアの怪しさ	松久保
5407	大島 境斗	ながらスマホの危険性評価と危機回避ゲームの作成	今地
5408	小田 駿太	試料の重なり検出・分離ソフトの検討	太屋岡
5409	神山 凜音	機械学習を用いた廃自動車のプラスチックの分類	太屋岡
5410	川上 巧真	黙読と音読が文章の短期記憶の定着率に及ぼす効果とストレスの比較	白濱
5411	白土 拓実	低複製コストのコピーモデルを利用したボイスニング攻撃	福田
5412	園田 大翔	倒立振子の姿勢制御における台車位置制御の有用性	今地
5413	高城遼太郎	UXに配慮したWEBページの評価と制作	今地
5414	竹本 龍生	極小規模の地域に限定したポイントシステムの提案	松久保
5415	田中 翔悟	ARを用いた機械操作支援システムの開発	秋本
5416	田中 隆樹	Mirai Botnetの教材利用	福田
5417	谷川 弦	倒立振子の製作	今地
5418	手嶋 彩香	絵を描くロボットの提案	北園
5419	中道 慧太	学習教材のメディアの違いによる、脳活動時の脳血流について	白濱
5420	中村 天之	多要素認証の課題と展望についての考察と提案	松久保
5421	野口 大貴	北九州高専の学科紹介 WebサイトのUXに着目した改善プロトタイプの開発及びSUSスコアとPageSpeed Insightsを用いた比較検証	今地
5422	濱野 愛可	顔認証による自動収納機能付き靴箱の提案	北園
5423	林 遼介	歯磨き時の磨き残し確認システムの提案	北園
5424	原 大夢	パラ言語情報の推定による感情分析	中島
5425	久富 大成	よりユーザビリティの高いサブカルチャー対応型予測変換を作る	松久保
5426	藤井 拓海	フォトグラマトリ利用と応用	松久保
5427	古迫 架音	スカート製作補助ソフトの作成	秋本
5428	細井 陸空	NIRSを用いた筆記と発言が記憶に及ぼす影響と脳血流量との関係性について	白濱
5429	前田 志温	極小規模の地域に限定したポイントシステムの提案	松久保
5430	松崎 颯斗	人工無能型ログ・辞書混合タイプ対話システムの制作	秋本
5431	松本 颯澄	ARを使用した新たなユーザーインターフェースの提案	秋本
5432	森山鈴太郎	ユニフォームの裏返し機能付き自動下処理ロボットの提案	北園
5433	八坂 洗輝	表情認識を用いたインターネット間での簡易的かつ円滑なコミュニケーションの実現	中島
5434	山下 悠	パラレルリンクロボットの試作	太屋岡
5435	山田 昌幸	IC識別・選別器の試作	太屋岡
5436	山本 隆介	機械学習を用いた軌道上における自然現象判別のための時系列データ解析ツールの開発	才田
5437	吉田 紗子	機械学習による廃自動車のプラスチックの分類	太屋岡
5438	吉松 拓海	モデル抽出攻撃に対するProof of Spacetimeを用いた防衛手法の検討	福田
5439	渡邊那由太	短波ドップラーデータ公開用Webアプリケーションの改善	才田

卒業研究一覧 (物質化学コース)

学籍番号	氏名	テーマ名	指導教員
5501	伊熊 美紗	オリゴ乳酸分解菌のスクリーニング方法の検討	水野・園田
5502	井上 大樹	スパーサー部を含むカチオン性ジフェニルアントラセン色素の合成とその発光特性	竹原
5503	井上 瑞穂	抗アレルギー成分 GAPDH を含むイチゴ品種の探索	川原・井上
5504	宇土 功祐	アリールエチニル基を含むカチオン性アントラセン色素の合成とその蛍光特性	竹原
5505	岡上 蒼士	AlとVを共添加した単斜晶 ZrO ₂ に関する第一原理バンド計算	松嶋・小畑
5506	小野 綾芽	ピロロイミダゾール亜鉛錯体の合成と構造解析	大川原
5507	小野 祥子	水熱処理によるエビ殻由来の金属吸着剤の作製	前田
5508	神永 凌羽	ZrO ₂ の結晶化挙動に及ぼす異種元素添加の影響	松嶋・小畑
5509	川上 和音	ポリ乳酸リサイクルの微生物活用法に関する研究	水野・園田
5510	河田 音羽	Cu系ケイ酸塩を用いた近赤外反射材の開発	松嶋・小畑
5511	久池井七海	繰り返し使用可能な炭素繊維を再生するリサイクルプロセスの基礎研究	山本
5512	桑野 雄太	希少元素フリー化合物薄膜太陽電池の研究開発	山根
5513	小西 凜	黄色系環境調和型セラミック顔料の合成 — ZrO ₂ におけるVとYの添加効果 —	松嶋・小畑
5514	小森 大輝	水酸基導入高分子による中空糸細孔への酵素固定化とマイクロリアクターへの応用	後藤
5515	後藤 涼花	(ジアルコキシ)フェニルエチニル基を有するアントラセン色素の合成とその蛍光特性	竹原
5516	後明 留奈	赤エビ由来キチンゲルとPHEMAの複合化に関する研究	前田
5517	清水 陸	新規抗腫瘍特異抗体産生ヒト細胞株の取得	川原・井上
5518	末満 歩夢	光アップコンバージョン色素系含有セルロースナノファイバー複合膜の研究開発	山根
5519	鶴 怜大	使用済み硫酸の再利用に関する基礎研究	山本
5520	戸田 柊平	異なる栽培条件によるGAPDH高含有イチゴの探索	川原・井上

学籍番号	氏名	テーマ名	指導教員
5521	土井 彩加	ポンプ循環型硫酸電解槽を用いた電解硫酸調製の基礎研究	山本
5522	新田 周平	"ジメチルアミン導入高分子による中空糸細孔への酵素固定化とマイクロリアクターへの応用"	後藤
5523	二宮和乃子	黄色系環境調和型セラミック顔料の合成—ZrO ₂ におけるVとAlの共添加効果—	松嶋・小畑
5524	二宮 廉	"スペーサを含むカチオン部を有するアリールエチニル基を含む水溶性アントラセン色素の合成とその蛍光特性"	竹原
5525	芳賀 延哉	黄色系環境調和型セラミック顔料の合成 ~ ZrO ₂ における V, La の共添加効果 ~	松嶋・小畑
5526	原野 舞緒	"N-エチルメチルアミン導入高分子による中空糸細孔への酵素固定化とマイクロリアクターへの応用"	後藤
5527	廣末京詩朗	Lactobacillus gasseri の共発酵系における相互作用に関する研究	水野・園田
5528	福田愛唯里	光エネルギー変換用光アップコンバージョン色素系含有複合膜の研究開発	山根
5529	藤本 一誠	抗原特異的抗体の低分子化と検出法の確立	川原・井上
5530	楠 日菜	ビピロール側鎖エステル基による固体蛍光波長制御	大川原
5531	溝尻 翔平	黄色系環境調和型セラミック顔料の合成 ~Bi ₂ Ce ₂ O ₇ における異種元素の添加効果~	松嶋・小畑
5532	ユ フィ	非イオン性水溶性凝集誘起発光性(AIE)色素の開発	大川原

専攻科 特別研究一覧

学籍番号	氏名	テーマ名	指導教員
S2101	青木 太一	カプセル型粒状体ダンパの制振効果に関する研究	井上 昌信
S2102	石川 風人	収集効率の高いゴミ箱の開発における自己位置推定の研究	久池井
S2103	入野 智希	ROSを用いた水中ロボットの運動制御シミュレーション	松尾
S2103	岩本 憲悟	一般介護施設向け対話ロボットの研究開発	久池井
S2105	上野 航暉	図形要素の提示方法と思考スタイルがテキスト理解に与える影響の検討	白濱
S2106	浦塚 健士	プラスチック材料の破壊強度に関する実験的研究	内田
S2107	江口 柊哉	酸化グラフェンのアニーリングによる電気特性の変化と導電機構の解明	桐本
S2108	塩田 大成	非対称構造を持つビピロール色素の開発と発光挙動の評価	大川原
S2109	大井 颯馬	オープンデータを利用した電力時系列解析 ~リザバーコンピューティングによる予測~	武市
S2110	大江 颯	高齢者転倒危険予測マップ作成のためのカバレッジアルゴリズム	古野
S2111	大平 電羽	新規アントラセン誘導体発光色素を使用した光アップコンバージョン色素系の研究開発	山根
S2112	小野龍之介	屋内で機能する光触媒の開発	本郷
S2113	香椎 大空	鋳型から出る熱を動力源とした自励振動装置の開発	吉武
S2114	神山 竜輝	衝撃波による気泡の微細化および管内の流動状態に及ぼすベンチュリ管の形状の解析	安信
S2116	ケンブ ケインジョシュア	気液二相流中の衝撃波により気泡の微細化を促進するファインバブル生成用ベンチュリ管の小型化に関する研究	安信
S2117	高下 空大	矩形ノズルより形成される超音速不足膨張噴流の特性の調査	安信
S2118	後藤 柊	モノレール軌道検査ロボットの開発	日高
S2119	末永 意織	細胞融合技術を利用したヒト型腫瘍特異的抗体の取得	井上 祐一
S2120	須山 開斗	スマート農場実現を目指した農場内移動ロボットの開発	浜松
S2121	高井 諒也	GAPDHのIgE抗体産生抑制とIgA抗体産生促進メカニズムの検討	井上 祐一
S2122	玉城 翔吾	高分子材料開発効率化のための機械学習を用いた解析	谷口
S2123	為近 玄	グライディングアーク放電を用いた種々の材料の表面処理	福澤
S2124	中原 彰太	センサーネットワークにおけるBLE ビーコンの活用	桐本
S2125	中村 美月	遠方場一様荷重下にある任意二楕円孔材の異方性弾性解析	種
S2126	西 柚都	水溶性色素の赤色励起による光アップコンバージョン系の構築	竹原
S2127	西野 史華	環境調和型黄色系セラミック顔料の合成—ZrO ₂ におけるVとAlの共添加効果—	松嶋
S2128	花田 涉	人工環境下での快適な振動発生装置 Vibration System with Comfort(VSC)の開発	松本
S2129	林田 龍也	医薬生産を目指したタンパク質生産手法の開発	井上 祐一
S2130	原 真樹	心拍変動でゆらく分光分布の快適性に関する基礎的研究	松本
S2131	古園 愛美	快適な睡眠環境を提供するSimulating Wave System の開発	松本
S2132	三木 隼斗	接着テープ製造工場のプロセス管理のためのソフトセンサーの構築	谷口
S2135	安野 裕貴	MIMOの通信路推定におけるLAMPの適応処理	福田
S2136	山北 暖人	拡張された熱力学に基づく多原子分子気体中を伝播する円筒および球面衝撃波の解析	谷口
S2137	山下 祥平	人工衛星の時系列データの解析	才田
S2138	山村 亮輔	多楕円孔を有する三次元造形材の応力集中に及ぼす材料異方性の力学解析	種
S2139	吉田 雄治	廃ポリ乳酸リサイクルの微生物活用法に関する研究	園田
S2140	渡邊 陽向	農業用ハウスでの搬送作業を担うロボットの研究開発	久池井

令和4年度課外活動指導教員一覧

体 育 局							
1	野 球	種 健	吉武 靖生	小路 紘史	木本 拓哉	藪奥 哲史	原田 洋海
2	バドミントン	谷口 茂	本郷 一隆	蔣 欣	杉山 俊		白神 宏
3	テ ニ ス	後藤 宗治	井上 昌信	渡辺 眞一	内田 武	松尾 貴之	
4	ハンドボール	牧野 伸一	松久保 潤	久保川 晴美	安部 力		
5	空 手	横山 郁子	日高 康展				
6	剣 道	久池井 茂	濱田 臣二				
7	柔 道	桐本 賢太	山根 大和				
8	水 泳	太屋岡 篤憲	石井 伸一郎				
9	陸 上	八嶋 文雄	福澤 剛	小清水 孝夫	島本 憲夫	安信 強	
10	サ ッ カー	浜松 弘	北園 優希	山本 洋司	今地 大武	鈴木 尊丸	久野 翔太郎
11	ラ グ ビ ー	二宮 慶	中村 嘉雄				
12	バスケットボール	大川原 徹	井上 祐一	武市 義弘	坪田 雅功	小畑 大地	
13	ソフトテニス	古野 誠治	前川 孝司	前田 良輔	大塚 隆史	富永 歩	
14	卓 球	松本 圭司	園田 達彦	秋本 高明	白濱 成希	三浦 嵩広	
15	バレーボール	竹原 健司	小畑 賢次	大熊 智之	福田 龍樹	吉元 裕真	
16	弓 道	山本 和弥	宮内 真人	浅尾 晃通	加島 篤	豊田 圭子	
文 化 局							
17	美 術	中島 レイ	高原 茉莉				
18	コンピュータ研究	松久保 潤	桐本 賢太	白濱 成希	福田 龍樹		
19	英 会 話	横山 郁子	渡辺 眞一	原田 洋海			
20	写 真	内田 武	川原 浩治				
21	ブラスバンド	竹若 喜恵	杉山 俊	白神 宏			
22	高専起業部 (旧KOSEN Fablab)	安部 力					
23	将 棋	大熊 智之	古野 誠治	安信 強			
愛好会・研究会・その他							
24	郵便友の会	加島 篤	安部 力				
25	ギターコーラス	竹若 喜恵	杉山 俊				
26	文学愛好会	木本 拓哉	豊田 圭子				
27	宇宙科学研究会	才田 聡子	宮内 真人				
28	ロボコン	久池井 茂	浅尾 晃通	鈴木 尊丸	吉元 裕真	富永 歩	
29	化学愛好会	前田 良輔	園田 達彦	山本 和弥	松嶋 茂憲		
30	ロボットデザイン研究会	松尾 貴之	秋本 高明				
31	数学愛好会	大塚 隆史	杉山 俊	藪奥 哲史			
32	NtiKitガールズ	井上 祐一	中島 レイ	安部 力			

令和4年度 高専体育大会等成績一覧

種目	競技名等		出場選手	九州大会成績	全国大会成績
硬式野球	男子		松木(5M)・谷石(4E)・小倉(5M)・大山(5M)・林(4E)・兎田(4M)・長谷川(4E) 宮崎(5R)・森山(5I)・上川(4R)・鶴島(5M)・小島(4C)・木下(4R)	3位	
バドミントン	男子	団体	的山(4R)・吉田(3M)・村瀬(3I)・渡辺(3C)・高橋(3M)・井上(3M)・小林(1-2)・田畑(1-5)	準優勝	優勝
		シングルス	村瀬(3I)	準優勝	3位
			渡辺(3C)	3位	
ダブルス	的山(4R)・吉田(3M)	優勝	3位		
	女子	団体	奥野(5R)・佐藤(3E)・井手(3M)・野地(3R)・花田(3R)・川崎(2-4)・荒巻(2-2)・新家(2-2)	3位	
テニス	男子	シングルス	中尾(5M)	準優勝	
		ダブルス	中尾(5M)・久恒(4E)	準優勝	
	女子	団体	新郷(3R)・桑山(4R)・白倉(4M)・雪竹(4M)・松本(2-5)・雪竹(2-4)	準優勝	
ハンドボール	男子		升田(3I)・安村(3R)・小住(5E)・井上(5C)・片桐(4E)・畑(3R)・愛宕(3I)・田中(5I) 飛松(3I)・山脇(3E)・三浦(3I)・渡邊(3I)・山本(3I)・松枝(3E)・松下(2-4)・小崎(2-3)	準優勝	
剣道	男子	個人	中園(4I)	3位	
柔道	男子	団体	松本(5M)・小山(2-4)・麻生(1-2)・石黒(1-1)	3位	
		66kg級	小山(2-4)	3位	
		81kg級	松本(5M)	3位	
水泳	男子	100m平泳ぎ	川原(4I)	優勝	3位
		50m自由形	尾崎(2-3)	優勝	
		100m自由形	尾崎(2-3)	優勝	
		200m自由形	廣末(1-5)	3位	
		200m個人メドレー	川原(4I)	優勝	準優勝
		100mバタフライ	廣末(1-5)	準優勝	
	4×100mリレー	川原(4I)・尾崎(2-3)・廣末(1-5)・山川(2-4)	優勝		
	女子	100m平泳ぎ	田中(4M)	準優勝	
		100m背泳ぎ	田中(4M)	3位	
陸上競技	男子	800m	吉田(3E)	3位	
		5000m	原(5E)	3位	
		110mH	下田(1-1)	優勝	
		400mH	吉田(4E)	優勝	
			下田(1-1)	3位	
		3000mSC	原(5E)	3位	
		4×400m	梶川(3C)・吉田(3E)・向井(3R)・吉田(4E)	準優勝	
		走幅跳	吉田(4E)	3位	
	三段跳び	梶川(3C)	準優勝		
		尾崎(2-5)	3位		
	女子	100m	若山(2-1)	優勝	
			高橋(3R)	準優勝	
		200m	若山(2-1)	優勝	
			高橋(3R)	準優勝	
		800m	堀田(1-2)	3位	
		3000m	堀田(1-2)	優勝	
100mH		上田(5E)	優勝		
4×100mリレー		高橋(3R)・鈴木(3C)・上田(5E)・若山(2-1)	優勝	準優勝	
走幅跳	鈴木(3C)	優勝	優勝		
サッカー	男子		植木(5E)・尾関(3M)・水(3E)・内田(4E)・石島(4M)・松井(1-3)・福田(2-1) 飯尾(3M)・宮村(5E)・川端(5M)・黒木(4M)・伊澤(4R)・栗明(3M)・高尾(3M) 渡邊(2-3)・井本(4E)・岡住(3E)・柳(3M)・三島(3M)・中村(3R)	3位	
バスケットボール	男子	山本(5M)・玉水(5R)・花田(5R)・岸川(5E)・辻(5M)・山本(5M)・宮本(5R)・家永(4E) 関谷(4M)・白川(4E)・森(4E)・石橋(3M)・太田(3E)・稲田(3C)・柳原(3C)		3位	
	女子	笛(4R)・大庭(4E)・秋吉(3C)・福田(3E)・清水(3R)・山内(3M)・渡邊(3M)・ 屋比久(3M)・古賀(2-5)・今池(2-3)		準優勝	

ソフトテニス	男子	団体	藤岡(5E)・平野(4M)・鶴崎(3R)・藤垣(3R)・荒木(2-2)・西(2-5)・白武(2-4)	優勝	
		ダブルス	平野(4M)・藤岡(5E)	優勝	
	女子	ダブルス	中島(3E)・竹本(2-2)	優勝	
卓球	女子	団体	佐藤(4E)・芳澤(4E)・西田(2-4)・渡辺(2-5)・吉富(1-1)・猪腰(1-5)・大和(1-5)	準優勝	
		ダブルス	西田(2-4)・渡辺(2-5)	3位	
		シングルス	渡辺(2-5)	準優勝	
			西田(2-4)	3位	
バレーボール	男子		竹本(4E)・篠熊(4R)・上田(3R)・永尾(3E)・廣津(3E)・木口(3E)・末次(3C)・鎮西(1-2)・仲村(2-3)・ハワース(2-1)・田中(2-2)・田中(2-3)・原(1-4)・山田(1-3)	3位	
弓道	女子	団体	谷口(4R)・中野(3C)・山脇(3E)・松本(3C)	準優勝	3位
		個人	谷口(4R)	優勝	優勝
将棋	個人	徳嶺(4R)			3位
英語プレゼンテーションコンテスト	暗唱部門	雪竹(2-4)		優勝	

※ 3位以上、または3位以上相当(全国出場)の成績を収めた大会のみ掲載しています。
 ※ 全国大会結果で「-」は4位以下の成績です。



学生会メッセージ

やるならガチが当たり前

学生会長 電気電子コース5年
高嶋 邑恭



皆さんお疲れ様です。初めましての方は初めまして、俺です。えー、もう卒業するみたいです。早いですね。人生の体感時間は20歳で折り返しと言いますが、それすらも凌ぐ速さで5年間を走り抜けたと思います。こういった類の文章には何か偉いことを書くものですが私はそんな真っ当な人間ではないので等身大で

語ろうと思います。それではしごとく5年間を生き延びてきた私からライフハックを伝授しておきます。それはしっかりと休むことです。どうせ皆さんアルバイトの1つや2つしているでしょう。平日授業出てアルバイトなんてしてたら身体なんてもたないですよ。それ以外にも色々あるでしょう。キツイ時はしっかりと休みましょう。無理して出る必要なんてありません。燃費は人それぞれです。自分にあった生き方で学校生活を楽しんでください。それでは皆さんまたどこかで。

人生で最も多忙な一年

文化局長 物質化学コース5年
溝尻 翔平



こんにちは。今年度文化局長を務めさせていただきました、溝尻翔平です。

初めに、この場をお借りして今年度の高専祭にお越しいただいた皆様にお礼申し上げます。

今年度の高専祭は、苦しい状況の中でも私たちの代に高専祭をつなげてくださった先輩方の意志を生かし続けるという意思を込めて「Still Alive」というテーマの元準備を始めました。そして3年ぶりにクラ

ブザーの食品販売と学生以外の方の参加を可能にすることができました。また、二日間を通して2500人の方にご来場いただくことができ、長い時間をかけて準備を進めてきた実行委員のみんなの努力の成果が感じられて非常に嬉しく思います。

高専祭の他には、文化系課外活動施設に電子楽器を主に使うことができる器楽練習室の作成にも取り組みました。現在は主にギターコーラス愛好会の活動場所として使われており、今後も科学と文化の重なる学生の憩いの場として発展していくことを願っています。

最後になりますが、本年度文化局の活動にご協力いただきありがとうございました。

今年の総括～来年に向けて

体育局長 電気電子コース4年
尾澤 要



皆さん、こんにちは。今年度副体育局長を務めました。機械創造システムコース4年の尾澤要です。

さて、体育祭はどうだったでしょうか？今年は外部観客有りの従来の体育祭を開催しました。その体育祭の運営する立場として、紆余曲折ありましたが、何とか【大成功】を成し遂げることが出来ました。それは学生

皆さんの協力あっての事です。本当に感謝しています。それから時を経て「冬季クラスマッチ」があり、私は体育局の諸事情で体育局長代理として運営させて頂きました。きつくなって投げ出したいと思う時期もありました。ですが「皆さんが楽しんでもらうために」という事でモチベーションに繋がり、楽しんで貰えたなら嬉しく思います。来年度は学生会長を務めさせていただきます。学生、学生会、みんなの求める「北九州高専」を作り上げて参りますので、応援の程よろしくお願い致します。



学生会メッセージ

変わりゆく報道の在り方

報道局長 機械創造システムコース5年
近藤 和奏



今年度報道局長を務めました。5年機械創造システムコースの近藤和奏です。今年度は学校行事が通常開催とかなり近い形で開催することができました。外部からの観客の規制も無くなり、例年に比べ報道の重要性も高くなっていて感じました。そして報道の影響と責任というものも強く感じる年度だったと思います。

SNSなどで簡単に情報を発信できるこの時代に忘れがちな報道責任に改めて向き合う経験となりました。

来年度以降、報道の在り方も変化していくと思います。それとエンタテインメント性は時としてぶつかる時があるでしょう。その時にどんな方法でどのように情報を発信するか、考えることが大切です。それは私達報道局だけではなく、SNS等を使用する誰しもがそうだと思います。来年以降の報道局長には、それら乗り越えてさらに人を惹きつける報道を期待しています。

以上報道局長でした。2年間、ありがとうございました。

男子寮長メッセージ

まずは

男子寮長 電気電子コース3年
江藤 大輝



私は、実家が北九州高専から遠いので、高専に入学する前は同級生や先輩に、友人どころか知り合いすらいませんでした。また、6月下旬まで続いた長い遠隔授業期間の間に、地元の友人は既に高校生活を楽しんでおり、それをSNSで見ても、新しい環境への期待と共に、高専でも上手く生きていけるのかという不安を抱きま

した。が、そんな不安が吹き飛ばされるくらいに寮生活は刺激的で楽しいものでした。

新型コロナウイルス対策により、何年もできていなかった行事が復活し、それまで受け継がれていた古いルールが新しいルールへと改善されていくという、浩志寮にとって大切な期間の寮長を二年間任されました。寮生がこれまで以上に楽しく快適な生活ができるように頑張ります。

掃除から始めましょう。

女子寮長メッセージ

高専という学園生活

女子寮長 電気電子コース3年
上田 さくら



私は高専に入って変わった。メイクとは何かを知った。人間関係の難しさを知った。自分の性格を知った。自分の学びたい学問とはどんなものか知った。高専は自分の可能性という道をたくさん探し出せる場所だと思う。5学年の生徒がいる、行きたい職業に手が届きやすいことだけでもなど一般高校とは違う色を持って

る学校と感じやすいのではないだろうか。1人の人間が出来上がる15歳から20歳の時期を高専で過ごすことはとても考えることであるのは知っている。女子であるならなおさら、男子の人数が多いこの学校で過ごすことは大変であることも知っている。それでも、高専と言う選択肢を持っている人ならばぜひ高専に通うことをおすすめする。より良い同級生、先輩、後輩に出会い、様々な行事を過ごし最高の高専生活をぜひ過ごせることを約束します。



トピックス

学校説明会に参加して
(Nit♡Kitガールズ)電気電子コース4年
長崎 麗

今年度のNit♡Kitガールズはコロナ禍による制限も減り、シーモール下関やイオンモール香椎浜など学外での活動も幅広く行いました。その中でも学校説明会は、ものづくりが好きな小学生や受験を考え

る中学生、受験生を持つ保護者などたくさんの方に参加して頂き、北九州高専の魅力を伝える良い機会となりました。

私たちNit♡Kitガールズは女子学生ならではの視点で質問に答え、入学前に抱える不安を少しでも解消し、女子新入生の心強い存在となることを目指しています。そして私たちの活動が、彼女たちに技術者になりたいという夢を持たせるきっかけになればと思います。

2022年度のロボコンの活動

知能ロボットシステムコース4年
大吉 英樹

ロボコン2022で私はチームリーダーとして大会に臨み、新たなチャレンジをしました。この年の競技は、紙飛行機を特定の台や筒へ狙って飛ばすルールでした。チーム全体で、どのように紙飛行機を飛

ばせるかを考え、試行錯誤しました。全国出場は叶わなかったものの、大会に私たちのチームも全力で挑み、その結果、晴れて特別賞をいただき表彰されることができました。

この経験を糧に、私たちはこれからもより先進的で斬新なアイデアを考え、技術を磨きながら、次の大会に向けて取り組んでいきます。

また、現在モノレール志井駅に実際の機体を展示させていただいているので、是非ご覧ください。





「魅力ある図書館をめざして」

図書室長 桐本 賢太

今年度、前任者からのバトンを引き継ぎ図書室長となりました桐本です。よろしくお願ひ致します。前号の図書館だよりで、前室長は学校図書館の役割は学生の学修を手助けすることと述べられました。私もこの考えを引き継いで図書館に関わる仕事を行って参りたいと思います。また、図書館には地域を支える情報拠点としての役割もあります。そのため、図書館が取り組むべき課題としては、図書館施設の充実、利用促進に向けての工夫であると考えます。

さて、改修工事を終えた図書館が2019年8月に再オープンしました。今年で4年目を迎えます。改修後まもなく新型コロナウイルスが世界中に広まり、本校も多大な影響を受けることとなりました。新型コロナの発生から約3年が経過し、社会や私たちの生活にも落ち着きが戻りつつあるように思います。本校図書館も一時は休館を余儀なくされてしまいましたが、今は利用時間に若干の制限があるものの、従来の運営に戻すことができます。

コロナ禍を経験して学校で感じる大きな変化は、遠隔授業やeラーニングなど、それまでは特別な学びとして感じられていた授業方法が日常的な学びとなり、小学校から高専・大学まで様々な学校種で活用されるようになったという変化です。従来は教科書や配布プリントを教材とした対面形式の学びが主流でしたが、コロナ禍以降はPCやスマホの上で動作する電子媒体を活用・併用する学びへと大きく変化するようになりました。

話は少しそれますが、教育工学というものにおいて、アダプティブラーニングというものがあります。

人には思考のくせ(どのような考え方をしがちなのか)があり、そのくせを把握しておけば、問題につまずく前の段階でそのつまずきを予防できるというものです。学ぶ側からすれば、もしその様な授業や勉強が可能であれば非常に効率良く学べるだろうと思います。

話を戻します。今や知りたい情報はインターネットがあれば大部分が入手でき、スポーツや趣味、小説、マンガ、映画までネットがあれば事足りる状況です。世の中が便利になりすぎてしまうと図書館を利用する人が減ってしまう、そのような懸念があります。それならば図書館の魅力はどうアップしていくのか。図書館に関わる人であれば少なからず考えるだろうと思います。

本校では新年度の新入生からBYODすなわちノートPCの必携化が始まり、電子化(デジタル化)を積極的に進めます。電子図書の配布・閲覧にも一定の制約や運用の不慣れさがある状況ですが、その分野で先行している周辺の図書館の事例や知恵を参考にして、本図書館でも改善を図って参りたいと思います。今後は専門知識と直結するSTEM(Science, Technology, Engineering, Mathematics)分野に加えて、STEAMとも言われる、芸術、音楽、文学、歴史などのリベラルアーツ(Liberal ArtsのA)も加えた多くのコンテンツが必要になってくると思います。図書館には図書室だけでなく、キャリアラウンジ、グループ学習室、PC教室もありますので、学生のみなさんに多く利用してもらえ魅力ある図書館にしていきたいと考えています。

☆OPACによる本の探し方

図書館入口横のパソコンで、OPACで読みたい本を検索することができます。

もちろんお手持ちのパソコンやスマートフォンでも下のQRコードを読み取り、北九州高専図書館のホームページで検索できます。

①本のタイトル、著者名を検索ボックスに入れて検索します



②検索結果より探したい本を件名、出版年で絞り、1冊選択すると、現在の在庫状況がわかります。

請求記号というのが図書館での住所になります

本が見つからない、所蔵がない、貸出中になっているなどの場合はお気軽に図書館職員へお尋ねください。北九州高専図書館の蔵書の特徴は最先端の技術や理論が多いため同じような内容の本でも同じ場所に置いてあるとは限らないので、蔵書検索もタイトルで1文字違いだとヒットしないこともあります。単語で区切って検索するといいですよ。

リクエストも受け付けています。図書館でお待ちしています。

☆図書館からのお願い

・返却期限を守ってください。

次に読みたい・借りたい学生が困りますので、返却期限を守ってご利用ください。

万一紛失した時は、速やかに図書館のカウンターに申し出てください。

・利用した本は、きちんと元の場所に戻してください。

本が本来の場所がないと、読みたい、借りたいと思っている利用者が利用できなくなります。背表紙に貼られているシールの情報を基に、正確に元の場所に戻してください。特に就職・進学コーナーの本や資格コーナーの本を、開架書架にしまったりしないようにお願いします。

・リクエストを受け付けています。

研究に必要な本、進学・就職に必要な本、読みたい本など図書館に置いてほしい本がある

時は、図書館カウンターにあるリクエスト用紙に記入して提出してください。

選定の上、購入します。

☆学外利用者の皆様へ

学外の方も、下記のとおり本校図書館をご利用いただけます。

○ ご利用いただける範囲

入室時に「利用簿」に氏名をご記入いただくことで…

- ・室内で自由に図書を閲覧できます。
- ・本を借りることができます。
- ・A V機器、A V資料やノートパソコンを利用できます。

○ 本を借りる場合

最大5冊まで、2週間借りることができます。

(初回のみ平日8:45~17:00の間に、運転免許証などの身分証明書をご提示いただき、登録する必要があります。)

(図書館HP QRコード)



ご不明な点等ありましたら、北九州高専図書館までお問い合わせください。

図書館(図書室) Tel: 093-964-7212 E-mail: g-tosho@kct.ac.jp

令和5年度行事予定 (4月1日～3月31日)

※新型コロナウイルス感染症の影響を含む諸般の事情により変更となる可能性があります。
最新の状況は、本校ホームページで確認してください。

4月	1日(土) 春季休業(～2日)	11月	1日(水) 寮避難訓練
	3日(月) 開寮		3日(金) 高専祭準備(※専攻科休講)
	4日(火) 入学式/新入生オリエンテーション 入寮オリエンテーション		4日(土) 高専祭(～5日)
	5日(水) 前学期授業開始		5日(日) 高専祭後片付け
	7日(金) 新入生学内研修		6日(月) 高専祭代休日(～7日)
	12日(水) 課題テスト(1～3年生)/定期健康診断		24日(金) 後学期中間試験(～30日)
	19日(水) 学生総会	12月	5日(火) クラスマッチ(※専攻科通常授業)
	24日(月) 開校記念日(通常授業)		19日(火) 寮クリスマスパーティー
5月	11日(木) 体育祭練習・準備(～13日)		20日(水) 校内清掃/寮大掃除
	13日(土) 体育祭		23日(土) 冬季休業(～1月6日)
	24日(水) 授業参観		24日(日) 閉寮
6月	5日(月) 前学期中間試験(2～5年生、～6月9日)	1月	7日(日) 開寮
	6日(火) 前学期中間試験(1年生、～6月9日)		9日(火) 授業開始
	17日(土) 前学期寮マッチ		17日(水) 学生会役員立会演説会
	22日(木) クラスマッチ(※専攻科通常授業)		27日(土) リーダー研修会
	24日(土) 保護者と学級担任・専門学科(コース)との懇談会(1～4年生)	2月	2日(金) 【専攻科】後学期定期試験(～7日)
7月	7日(金) 九州沖縄地区高専体育大会(～9日)		6日(火) 【本科】後学期定期試験(～15日)
	14日(金) 九州沖縄地区高専体育大会(～16日)		8日(木) 【専攻科】答案返却(～9日)
8月	1日(火) 前学期期末試験(～7日)		11日(日) 【本科】学力選抜試験
	7日(月) 答案返却(～9日)		15日(木) 【本科】答案返却(～19日)
	9日(水) 校内清掃		19日(月) 寮大掃除・部屋替え
	11日(金) 閉寮/一斉休業		20日(火) 特別教育機関(～3月14日)
	19日(土) 夏季オープンキャンパス(20日)		21日(水) 閉寮
9月	23日(土) 開寮		22日(木) 学生登校日
	25日(月) 課題テスト・英単語テスト(1～3年生) 長期工場見学旅行(4年生、～9月29日) 【専攻科】後学期授業開始	3月	7日(木) 5年生登校日
	26日(火) 【本科】後学期授業開始		8日(金) 1～4年生登校日
10月	2日(月) 【本科】4年制後学期授業開始		15日(金) 卒業式修了式/学年末休業(～31日)
	4日(水) 学生総会		18日(月) 新2年生クラス分け発表
	6日(金) 校内清掃		
	7日(土) 秋季オープンキャンパス(～8日)		
	10日(火) 保護者と学級担任の懇談会(1～4年生、～13日)/短縮授業		
	25日(水) 防災避難訓練		
	27日(金) 救急法講習会(3年生)		